

地区名 満日地区

今年度の取り組み	・満日地区福祉懇談会（6/29、1/18） ・満日声かけ訪問（毎月1回） ・歳末見守り事業（10/7 打合せ） ・買い物送迎支援（隔週火曜） ・ふるさと健康講座（年間10回） ・まんまるサロン（毎月1回） ・休日親子ふれあい広場（6月、9月） ・文化祭（11/2、11/3）
課題	・買い物送迎支援にて、お盆などの連休時、事前に実施日等の活動の相談ができるとよい。 ・買い物送迎支援の継続のため、事業所等の負担軽減を工夫していきたい。 ・高齢化が進み、深刻な状況になる世帯が増えると思われる。声かけ訪問を含め、様々な面からのつながりを考える必要が出てくる。 ・ふるさと健康講座の新規参加者がいない。声かけは行っているが、移動手段の課題の声が出ている。まんまるサロンと合わせて月2回の参加は難しいのか、開催の検討が必要。 ・老人クラブは年をとって先のない人が入るイメージを持たれている。 ・コロナ禍で閉じこもりが増えたため、老人クラブの活動が大切である。
評価	・買い物送迎支援は、利用されている皆さんから喜ばれている。事業所としても喜びの声があることで、やりがいにつながっている。負担も特になく、事業所の利用者も役割があり、楽しみにしている。 ・声かけ訪問は、困りごとや体調の話など、関係づくりができています。いま出来ていることの継続が重要である。 ・休日親子ふれあい広場では、友達同士で参加できるように工夫し、昨年度に比べ参加者数が増加した。 ・文化祭は、癒しの福祉ゾーンの各施設も含めて、初めて200名を超える参加があった。芸術文化になじみのある団体がある限り継続していきたい。
活動の様子	買い物送迎支援  満日声かけ訪問活動  地域福祉懇談会 
次年度へ向け	・買い物送迎支援の継続。事業所利用者も一緒に買い物できるような、地域と一体的な取り組みを検討。 ・声かけ訪問で、民生委員等との情報共有の場やふり回り会を考えていく。 ・健康維持を進めていくため、総踊り体操養成講座を受け、体操を広げていく。 ・文化祭では展示に限らず、お茶飲み等の交流できる場を設け、地域でつながる機会を検討する。 ・休日親子ふれあい広場は子どもを含めた地域が遊ぶことのできる場として、旧満日小学校を活用しながら継続していく。 ・交流の場とコミ協との連携について検討する。（老人クラブ）

[参加者] 満日コミ協：菅井会長、杵鞭副会長、大田副会長（満願寺町内会長）、柳澤副会長（七日町町内会長）、小濱会計、杵鞭事務局長、小池事務局次長、小檜山教育・文化部部長、皆川環境・安全部長、皆川福祉・健康部長、帆苅福祉・健康部員、杵鞭福祉・健康部員、小濱福祉・健康部員、高橋福祉・健康部員、山田福祉・健康部員（七日町民生委員） 満日地区社会福祉部会：井上部員、田中部員（満願寺民生委員、満願寺老人クラブ会長）、帆苅部員（七日町老人クラブ副会長） 癒しの里連絡協議会：はさぎの里 鶴巻様、けやき福祉園 佐藤様、ぶどう工房 志田様 秋葉区社協：横山事務局長補佐、小林